

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100219
法人名	医療法人 健秀会
事業所名	グループホーム どんぐりの里
所在地	鹿児島県霧島市隼人町真孝113番地1号 (電話) 0995-42-8014
自己評価作成日	令和4年12月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 家庭的な雰囲気があり、穏やかに過ごして頂いている。
- たまいくリニックとの連携が取れている為医療面でも安心して頂いている。
- 要介護度や認知症の進行にかかわらずご本人に即した介護を目標としている

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和5年1月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、霧島市隼人町真孝地区に平成18年に法人母体の医療機関(ホームの協力医療機関)に隣接して設置されており、周辺にはスーパーマーケットや個人商店、自動車会社、小・中学校、マンション、個人住宅等が立ち並んでいて利便性も十分である。平屋構造のホームは幹線道路から少し入っているため、静かで日当たりも良く快適に生活できる環境である。協力医療機関とは常に情報の共有と協力体制を築いており、健康管理や疾病の治療等が適切に実施され利用者や家族の安心に繋がっている。また、防災訓練、職員研修、給食委員会等を合同で開催して運営やサービスの向上に取り組んでいる。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が家庭的な雰囲気の中で生きがいと笑顔に満ちた、その人らしい暮らしとなるような支援に日々取り組んでいる。利用者及び家族の思いや要望を把握し利用者主体のより良いケアに努めており、年間の外出や行事を計画し積極的に取り組んできているが、現在は新型コロナウイルス感染の予防に配慮して、外出や地域のイベントの殆んどが中止になっている。このような状況ではあるが、家族との交流を図るために畳1畳大の透明パネルの設置やリモート、電話等工夫して面会や会話の機会を設け、また、室内でのレクリエーション等を楽しく取り組めるメニューにして利用者のリフレッシュを図っている。

管理者と職員は気軽に意見を言い合える信頼関係と協力体制を構築しており、日頃の業務の中やミーティング時に積極的に意見や要望を出し合い、個人的事情にも配慮しながらサービスの向上や働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。有給休暇取得の促進やケアに関する助言・指導、スキルアップを図る研修の実施、資格取得へのバックアップ等に日頃から努めており、外部研修受講時に要する経費には法人の助成制度もあり職員のモチベーションに繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職場理念を目に付く様に掲示して共有を図っている	理念は目につきやすい玄関やリビング、事務室等5か所に掲示して周知を図り、日頃のケアの中や勉強会、ミーティング（月2回）時にケアの振り返りや研修の実施、意見交換等を行って認識を共有し、理念に添った支援の実践に日々取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	感染防止優先の為地域とのつながりは不十分であった	開設以来、地域との交流を大切に取り組んできているが、コロナ禍に配慮して現在は一時帰宅、外食、ホームの行事への家族や地域住民の参加、ボランティアの受け入れ等は控えている。感染予防に配慮しながら周辺の散歩時には地域の人と挨拶を交わし、近くのスーパーでの食材購入時には1～2名程度の利用者も同行している。住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアの相談にはビデオ等も活用しながら適切な助言に努めている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	感染防止優先の為地域への貢献は出来なかった			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染防止の為、運営推進会議は開催できなかったが、書面にて報告を行い意見を伺い検討を行っている。 ようやく12月6日再開出来た	会議は、家族、民生委員、市担当職員等の出席で隔月毎に開催し、ホームの現況や課題、研修状況、ヒヤリハット等を報告し意見交換している。コロナ禍に配慮して会議資料を委員に送付して意見をもらう書面会議での対応が続いていたが、前回（12月6日）は委員が一堂に会して開催している。寄せられた意見は、ミーティング等で検討してサービスの向上に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議開催の時市町村担当の方へ出席して頂く様にし、情報提供をして良いサービスを提供できるようにしている	市の担当者とは窓口や電話で、介護保険の代理申請や各種制度の申請・報告、感染症にかかる協議や相談、生活保護受給者（現在は2人）の処遇に関する連携等を行い、また、運営推進会議にも出席してもらって助言や指導、提案等を貰うなど、かねてから協力関係を築いている。市主催のオンラインによる会合や研修にも参加して運営やサービスの向上に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を行い身体拘束防止について職員に理解を得る又身体拘束をしない様に取り組んでいる 研修も行っている	身体拘束の無いケアについては指針を整備し委員会を年4回法人全体で開催すると共に研修の実施や日常的にケアの振り返り、意見交換等を行って認識を共有している。職員は日頃から見守りや対話、寄り添いに努め、適切な言葉遣いに留意し、利用者の思いを汲み取りながら自由な暮らしの支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行い身体的虐待精神虐待について職員に理解を得る又しない様に取り組んでいる		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用出来る様、研修会、講演会などに参加する様にしている (WEB)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設長、管理者、ケアマネージャーにて入居時にご家族に契約の説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	感染防止の為面会は減少したが出来るだけ意見を聞く様にしている（電話連絡を取る時にも意見を聞く様にしている）	利用開始時に利用者や家族から想い等を聞き取り、入居後は利用者の日常会話や表情、サイン等から把握している。家族とは面会（パーテーションを活用し玄関で短時間実施）や運営推進会議、電話時に気軽に意見を出して貰い、出された意見や要望は、申し送りやミーティング等で対応を検討して具体的にケアに反映させるなど改善に努めている。家族会の開催は控えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映	月2回ミーティングを開催し職員の意見を聞く、伝える様にしている	管理者及び職員は年齢差や経験年数に拘らず気軽に意見を言い合える人間関係の構築に努め、日頃の業務の中や申し送り、ミーティング時に意見や要望を出し合い、必要に応じて個人面談も行って業務やサービスの向上に取り組んでいる。管理者は、業務に対する助言・指導や研修の実施に努め、勤務シフトには有給休暇の取得や健康状態、個人的事情等も配慮する等、働きやすい職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境条件を整備し働くことが出来るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内外の研修に参加し出席した職員が報告するようにしている		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	法人内外の研修に参加できる様勤務の調整を行い、出席した職員が報告出来る様取り組んでいる（新型コロナ流行の為機会は減っている）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	一年一年老化を感じる中日常生活で困っている事伝えたい事、心の訴之を察知し声掛けする (本人との親しい関係を作る)		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族構成等長い目で見て老々介護等話し合ってお互いを尊重し合う相談相手になること		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症の治療等、サービスも定期的にクリニックで見て貰っている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションや個人個人に対応した、誕生日会、敬老会クリスマス会、等行事にはホーム内で共に喜びや楽しみを分かち合う		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	時々本人やご家族の声を もっと傾聴しておく 本人に変わってご家族に感謝の言葉を伝えて関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	すぐ、ご近所の方等仲良く会話して頂いています (面会制限もあるが)	利用者や家族、関係者からの情報で利用者毎の馴染みの人や場を把握し、キーパーソンの意向も確認しながら支援している。コロナ禍に配慮して家族との面会はバーテンション越で実施し訪問美容も継続しているが、外食やドライブ、会食、墓参、一時帰宅等は控えている。家族との電話や手紙の取り次ぎに努め、写真を添付した「どんぐりの里便り」の送付等、工夫して関係の継続に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立させない様に日中ホールテーブルに座って頂き会話される空気は常に気を配っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	どんぐり便りを作成し送ったり相談や面談も短時間パネル越しで実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の体調を見極め思いやり声掛け希望等耳を傾け本人本位に検討している	利用者の日頃の会話や仕草、独自のサイン等から思いの汲み取りに努め、家族の意向も確認しながら、その人らしい安全で生きがいのある暮らしの疎遠に取り組んでいる。利用者の意向に沿って趣味（ぬり絵や読書、テレビ視聴、短歌、計算ドリル他）や家事（食材の下処理やテーブル拭き等）への取り組みを体調や残存機能に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には評価や感謝の言葉を添えて自己肯定感が得られるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	規則だたしい生活をして頂き観察し声掛けを行い、本人が望んでいる事が叶うように援助している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	規則正しく生活して頂いている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月2回のミーティングを開き問題提起と解決を進めている	本人及び家族の希望や主治医の意見等を把握し、モニタリングやミーティング時の意見を基に、利用者の楽しみ事や生きがい等にも着目した具体的な介護計画を作成している。ケアの状況は「支援経過記録」「業務管理日誌」等で共有し、本人主体のケアの実践に努めている。定期的な見直しに加え状態変化時には計画の修正やケアの方法の変更等を適切に行って、実態に即した支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>夜寝れないときの不穏などに気づき落ち着いて就寝出来る様計画の見直しを実施しその都度努めてスタッフ間で共有するよう努めている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>御家族の要求には出来るだけ聞き入れて新コロナ流行時期の中面会もパネル越しに短時間でやっている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近くの理容師に来居してもらい喜んでもらっている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>早期発見に努め、連絡をとりクリニックへの受診をサポートしている</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関での受療を支援しているが、殆んどの利用者が隣接の協力医療機関を主治医としている。月2回の定期的な診療が実施され、他科受診（整形外科等）は家族と連携して対応している。看護師の職員が主となって日頃から衛生や健康管理を徹底し、協力医療機関との24時間医療連携の体制も構築されて、利用者及び家族の信頼と安心に繋がっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	併設するたまいきクリニックに定期的に受診体制を取っておりグループホーム内には看護職員と連携を中心にたまいきクリニックと連携をとり早期発見や適切な受診や感染、急変にもすぐ報告をし、指示や受診を受けられる様にしている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	キーパーソンとなる方と連絡をとりながら、情報交換できる様に行っている。病状変化時にはたまいきクリニック介し必要時他の病院へ相談している		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居の際看取り介護について説明を行い承諾を得ており重度化・終末期の医療については主治医よりご家族又はキーパーソンとなる方へ説明を行い同意の上で対応している	終末期のケアについては運営規定に明記し「重度化、終末期ケア対応指針」も整備しており、利用開始時に本人及び家族に説明して同意を得ている。重度化した時点で家族及び関係者はその後のケアに関する十分な話し合いを行い、可能な限り希望に沿った支援に取り組んでいるが、最終段階で殆どどの利用者が入院に至っている。終末期対応の研修を実施して職員のスキルアップや不安感の軽減に努めている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	たまいきクリニックと連携し対抗行っている 事故発生時の勉強会等をして対応出来る様努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防火訓練の実施 防災グッズの管理、避難経路の把握をし職員全員の意思を高める様努めている (BCP等定あり)</p>	<p>災害対策については、運営規定に詳細に明記されており、年2回夜間想定を含む災害訓練を消防署の協力を得て実施し、併せて、連絡網や避難経路の確認、防災用品の管理等の自主訓練を行っている。隣接の協力医療機関との協力体制が構築され、日頃から災害事例を話題にするなど防災への共通認識に努めている。スプリンクラーや緊急通報装置等が設置され、介護用品や懐中電灯、ラジオ等を整備しており、飲料水や食料品は法人本部で備蓄している。BCPは作成済みである。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人に対し尊敬の念を持ちひとりひとりの言動や性格を把握し、その人なりに即したケアを行うように努めている	人格の尊重やプライバシーの確保、守秘義務については施設内研修や日頃の業務中での意見交換等で認識を共有している。利用者の尊厳やプライバシーを大切にしたケアに日々努めており、入室時にはノックや声掛けを励行し、排泄や入浴時のケアは羞恥心にも配慮して適切な言葉やトーンで取り組んでいる。利用者が自己決定しやすいような語りかけや選択肢の提示など工夫したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の中ご本人の意思や希望を尊重を素早くくみ取りながらご本人の意思を尊重している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の状態を把握したうえで傾聴し声掛けを行いどうしてほしいのか意向を汲み取りながらご本人のペースに合わせ支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝晩の挨拶や四季の感覚をもってもらうようにメリハリがあるように衣類選びに心掛けています。定期的に訪問理容を利用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人に合った食事形態や咀嚼、嚥下状態を考慮しその人に応じた食事支援の仕方など主治医に相談したり職員で話し合い提供できるように努めている（クリニックとの合同給食検討会を開催）	利用者の食事については、形態、栄養バランス、嗜好、旬の食材等に配慮した1週間毎のメニューで調理しており、片付け等は利用者も一緒に行っている。毎月、協力医療機関と合同で給食検討会が開催され、栄養士による助言も得られている。誕生日の希望食や季節の行事食、利用者との手作りのおやつ（どら焼きなど）、玄関、テラスでのお茶など食事が楽しみとなるよう工夫し、利用者毎に食事や水分の摂取量も把握しておりプランに沿って口腔ケアも支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれの個々に合わせた食事の提供を行い栄養バランスを考えている。たまいクリニックと合同で月1回給食検討委員会を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けにて毎食後の習慣として行っている口腔内の異常や気になる所は訪問歯科の時に尋ね必要に応じて治療も行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を元に個々のパターンを把握し誘導を行ったり、オムツ交換し使用量の確認を行っている。利用者様にも支援や対応をスタッフで共有している	利用者毎の排泄パターンを「排泄チェック表」で把握し、体の状態や習慣にも配慮しながら昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。心身の状態に応じた介護用品やケアの方法を介護計画に反映させて排泄機能の低下の防止に努めている。便秘の予防に食物繊維や乳製品、水分の摂取に配慮し、主治医にも相談して排泄の改善に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならない様に積極的に乳製品を取り入れている必要に応じて医療機関との連携を行っている (適宣下痢処方を買っている)		

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価 実施状況	外部評価 実施状況 次のステップに向けて期待したい内容	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴、シャワー浴を入居者様の状態に合わせて行っている	基本週3回の入浴を実施しているが、必要に応じて清拭やシャワー浴で常に清潔を維持している。温度や時間、習慣、好みのシャンプー、同性介助等は意向に沿って柔軟に対応し、ゆず湯や入浴剤も活用してゆつくり楽しんでもらえるように配慮しており、職員とのコミュニケーションの場にもなっている。入浴後は水分補給や保湿剤の塗布を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食事後は口腔ケア、排泄を済ませ時間を希望される方には置き約30分～1時間臥床して頂いている。リビングで過ごされている場合もあり		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の支援症状の変化を確認行っている又常にたまいクリニックへ医療従事者を連携から取れる体制を取れている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	天気の良い日は施設周辺にて散歩をし気分転換を行って頂いている。レクリエーションを午前中又は午後に行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族からの希望にて施設長より許可が出ると外出、外泊もありましたが現在は感染対策の為行っていない	コロナ禍で外出の計画も中止や縮小するなど十分には実施出来ない状況であるが、園庭での散歩を日常的に楽しみ、行き交う人との挨拶を交わしている。通常は利用者の意向に沿ってドライブや外食等を楽しみ、家族との墓参や一時帰宅、通院等を個別に支援しているが現在は控えている。外出の機会が減少している状況に配慮して、園内で花見やソーメン流し、ミニ運動会を実施し、日常的に軽い体操やゲーム、音楽・ビデオの視聴、季節に合わせた作品作り等、工夫してリフレッシュに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在お金の所持を望む入居者様はいない</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者様の希望されるときは御家族へスタッフが連絡し状況を伝えたくて本人様と会話して頂いている（電話使用）</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様に季節の飾作りを手伝って頂いている その後職員が飾りつけを行っている</p>	<p>玄関先には季節の草花が植えられ、利用者が昼間の殆どの時間を過ごすリビングは天窓があり明るく開放感に満ちており、季節の活花、ぬり絵、季節感のある利用者の作品等が飾られている。トイレや浴室は場所を戸惑うことの無いように大きく表示し、台所からは調理の音や匂いが伝わるなど、家庭的で和やかな雰囲気である。清掃や整頓、空調、衛生管理等を徹底し人間関係にも配慮した座席など、快適な生活の支援に努めており、利用者は四季を感じながら平穏に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事の時はテーブルに決まった席で召し上がって頂いている。行事、レクリエーションの時は入居者様に合わせ席を工夫している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していた家具を持ってこられる入居者様もいる。居心地よく過ごせるよう家具の配置にも工夫しています</p>	<p>腰高窓でフローリングの居室は明るく換気扇を活用するなど空調の管理に努めており、エアコン、ベッド、タンスが利用者の状態に配慮して設置してある。利用者は長年愛用してきたテレビやテーブル、小家具、家族写真、小物等を持ち込み、自身の作品や頂いた品物も飾って、その人らしく居心地良く過ごせる雰囲気になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人が独自に出来る事を援助している。またスタッフが危険を察知したら即対応している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない